

機械器具 32 医療用吸引器
管理医療機器 歯科用吸引装置 (34859000)

デントレード バキュームユニット

【警告】

- 歯科診療・治療の目的以外には使用しないこと。
- 機器に異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼すること。

【禁忌・禁止】

- この機器は、電磁波によって誤動作を起こす可能性があるため、貴医院建屋内で、携帯電話、トランシーバーなどの電気機器は必ず電源を切ること。
- 廃棄の際は地方自治体の条例または規則に従うこと。

【形状・構造及び原理等】

*1. 形状

寸法：150×240×130mm
重さ：約 1.61kg

2. 原理



メインスイッチを ON にすると、本体に電源が供給される。本体上の作動スイッチ又はフットスイッチを踏むことによりバキュームモーターが作動して吸引力が発生し、口腔から発生する水、血液、唾液及び破片を吸引除去する。汚水ボトルが満水状態になるとフロートスイッチが働き、吸水が停止する。

3. 構造

電氣的定格
電源電圧：AC100V、2A
周波数：50Hz 又は 60Hz

電撃に対する保護の形式による分類：Class I
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B 形装着部
IP 等級：本体 IP20
IP 等級：フットスイッチ IP44
本品は、EMC 規格 JIS T 0601-1-2: 2012 に適合している。

4. 性能及び安全性に関する規格

- 空気流量：378 l/min(±10%)
- 吸引圧力：-55hPa (±5%)
- 騒音：57.1dB (±5%)
- 接続部寸法：φ 11 mm±1mm
- 気水分離性能：気水分離器が水と空気を分離し、空気流から液体及び固体を除去する構造である。

【使用目的又は効果】

歯科治療中に口腔から発生する水、血液、唾液及び破片を吸引除去すること。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 1) バキュームホルダーを接続する。
- 2) 汚水ボトルに汚水ボトル(気水分離器)蓋をつけます。
- 3) 蓋の付いた汚水ボトル(気水分離器)を本体と接続させる。
- 4) バキュームホースを汚水ボトル蓋上面の穴に挿入します。
- 5) バキュームホース先端にバキュームチップを接続します。
- 6) 吸引口・汚水ボトル蓋接続器をセットします。
- 7) フットスイッチをフットスイッチコネクタに接続します。
- 8) 電源接続コードをコンセントに接続します。メインスイッチを ON にします。

※ バキュームチップは医院内でお使いの形状が合う φ 11mm のバキュームチップを使用して下さい。

2. 操作

- 1) バキュームメインスイッチの ON/OFF スwitch で ON にすると常時 ON 状態になります。
作動スイッチの ON/OFF でフットスイッチを使用しなくても作動します。
- 2) フットスイッチを使用する場合は作動スイッチを OFF の状態で踏むことで作動します。(フットスイッチは踏んだ時のみ ON になるモーメンタリー型です)
バキュームモーターより吸引力が発生し、バキュームチップで口腔から発生する水、血液、唾液及び破片を吸引除去します。
- 3) 汚水ボトルが満水状態になるとフロートスイッチ (水位センサー) が作動し、自動的にバキュームモーターが OFF になります。

【使用上の注意】

- 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
- 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に設置すること。
 - 2) 温度、風通し、日光、ほこりなどにより悪影響が生じるおそれのない場所に設置すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。電源の周波数と電圧及び許容電流値又は消費電力に注意すること。
- 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
スイッチの接触状況、コネクタの緩みなどの点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
- 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - 1) 診断、治療に必要な時間を超えないよう注意すること。
 - 2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - 3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講じること。
 - 4) 機器に患者が触れることのないよう注意すること。
 - 5) 作動スイッチの ON/OFF は汚水ボトル内のフロートスイッチ (水位センサー) によって作動します。本体が転倒した場合、自動停止しないので電源コードをコンセントから抜き、モーターを停止して下さい。

- 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - 1) コード類の取り外しの際は、コードに無理な力をかけない。
 - 2) 機器は次回の使用に支障のないように必ず洗浄しておくこと。特に汚水タンクは残水を全て捨て、十分に乾燥させる。
- 故障したときは適切な措置を行い、修理は専門家に委ねること。
- 機器は分解、改造しないこと。
- 廃棄の際は国内法に準じて廃棄すること。
- ヒューズ交換が必要な場合は必ず次の手順を守って行うこと。
 - 1) 電源接続コードを外す。
 - 2) 工具（マイナスドライバー等）を用いてヒューズボックスを取り外す。
 - 3) 指定のヒューズを入れ、ヒューズボックスを戻す。

【保守・点検に係る事項】

詳細については、取扱説明書の使用上の注意事項をご使用前に必ずお読み下さい。

- 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- しばらく使用しなかった機器を再使用する時には、使用前に必ず正常かつ、安全に作動することを確認すること。
- 取扱説明書の使用上の注意事項、保守点検の項に従い、機器の点検及び手入れを行うこと。

**【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- 水のかからない場所に保管すること。
- 気圧、湿度、風通し、日光、硫黄成分を含んだ空気などにより悪影響が生じるおそれのない場所に保管すること。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

＜耐用期間＞

製造の日から、正規の保守点検(消耗部品の交換を含む)を行った場合に限り 5 年間【自己認証(当社データ)による】とする。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

有限会社 デントレード
TEL : 072-620-0523